

まちづくりの目標	4	暮らしにやさしく笑顔があふれるまち
政策	3	誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします
施策	9	市民の健康を守るまちにします
		担当部(統括部) 保健福祉部

【実現している姿】

目標	市民や事業者が自主的に健康管理を行い、生活習慣病などの予防や疾病の早期発見・早期治療が進んでいます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	健康づくりをめざして活動する自主グループや団体が増加し、交流も広がっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
特定保健指導対象者率(国民健康保険の加入者)	目標	—	—	13.0%	12.5%	12.5%	12.2%	12.0%	11.7%	11.0%	10.0%
	実績	13.9%	13.6%	13.2%	12.9%	13.1%					
各種がん検診受診率(胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん)	目標	—	—	15.0%	20.0%	25.0%	30%	35%	37.5%	37.5%	50.0%
	実績	12.3%	12.9%	13.7%	13.1%	16.1%					
各種予防接種率(ポリオ、BCG、MR(I・II期)、DPT(I・II期))	目標	—	—	83.0%	85.0%	88.0%	89.0%	90.0%	91.0%	92.0%	95.0%
	実績	80.2%	81.3%	81.2%	91.3%	78.9%					
健康づくり自主グループの数	目標	—	—	35グループ	36グループ	37グループ	50グループ	55グループ	60グループ	65グループ	50グループ
	実績	31グループ	34グループ	37グループ	42グループ	42グループ					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎地域との連携による健康づくりの推進						
地域の組織や団体、健康づくり自主グループと連携しながら、健康づくり運動や食育の取組みを推進します。						
平成27年度事業	◇介護予防普及啓発事業1,363千円・◇地域介護予防活動支援事業525千円(高齢介護課) ◇健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(保健衛生普及費)22,354千円(国保年金課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間		後期終了年度
				平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	市内の自主グループ交流会で多くのグループが交流を図る。	健康づくりグループ交流会で自主グループ同士の交流を図り、自立に向けて交流会実行委員会の支援を検討する	交流会実行委員会を中心に自主グループ同士が協力し合って交流会を開催できるように支援	交流会実行委員会を中心に自主グループ同士が協力し合って交流会を開催できるように支援	交流会の開催に向けての支援方法についての評価	市内の健康づくり自主グループ交流会を自主運営して開催できるように支援
取組実績	事務局を地域包括支援センターに移行した。関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催した。(春:140人参加、31グループ参加。秋:500人参加、23グループ発表。)					
成果	交流会の企画運営に関して、いきいき体操の会を中心にしてグループが積極的に関わった。					
次年度課題	新規のグループにも交流会への参加促進を図る。					
計画	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダースキルアップ講座を開催し、地域で活動できるように支援	健康づくりにかかわるリーダーのスキルアップをはかる	健康づくりにかかわるリーダーのスキルアップをはかり、健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援
取組実績	ウォーキングコースと健康遊具を設定・設置し、市民が効果的に健康づくりに取り組めるようウォーキング推進リーダーを育成した。ウォーキングイベントでは推進リーダーが主体となり取り組めた。					
成果	14名のウォーキング推進リーダーを育成し、「うきうき撰津健歩会」の設立につながった。					
次年度課題	うきうき撰津健歩会が主体となり、市と共同して新コースの設定と健康遊具の設置をしていく。また既存コースを活用したイベントをしていく。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業として、別府・味生地域に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業として、新幹線公園を中心に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業として、吹田操車場跡地を中心とした千里丘地域に健康遊具とウォーキングコースの設定と紹介マップを作成していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業として、3箇年で完成させたウォーキングコースを有効的に活用展開していく	まちごとフィットネス！ヘルシータウンせつ事業として、完成させたウォーキングコースを中心に市内全域の健康遊具とコースを有効的に活用展開していく。	全市域の健康遊具やウォーキングコースを使用したイベントを開催。
取組実績	別府・一津屋ウォーキングコース(うきうき歴史街道別府・一津屋コース)と健康遊具を設定した。リーダーと共同しマップを作成した。イベントや市役所窓口で配布した。					
成果	コース開きのイベントでは多くの市民に参加いただき、イベント後の活用につながった。					
次年度課題	市内のどこでも安心・安全にウォーキングができるよう新規のコースを設定する。					
計画	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の実施	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し	介護予防講座の開催、グループ交流会・研修会の支援の見直し
取組実績	はつらつ元気でまっせ講座を市内3か所で開催した。また、活動の効果をPR活動に用いるため、体力測定を7グループに実施した。関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催した。(春:140人参加、31グループ参加。秋:500人参加、23グループ発表。)					
成果	はつらつ元気でまっせ講座について、マンハイム淀川公園集会所で17人、鳥飼本町いきいき元気フロアで18人、北別府第13集会所で22人の参加があり、新たに2グループが立ち上がった。交流会の企画運営に関して、いきいき体操の会を中心にグループが積極的に関わった。					
次年度課題	PR活動不足だったため、講座開催希望が少なかった。体力測定の結果を集計し、PR活動を行う。					
計画	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る。雨天時の内容を充実させる。	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る	市民健康まつりを開催。介護フェア等のイベントとの調整を図る
取組実績	市民健康まつりを11月に開催した。参加団体が増え、多種多様なコーナーづくりができた。雨天にも関わらず約1,400人の参加があった。					
成果	新たに食育スマイルによる乳幼児向けの食育劇を開催し、食育への意識の向上を図ることができた。					
次年度課題	コミュニティセンターと保健センターでイベントを重ねて実施したが次年度も他のイベントと調整する必要がある。また、雨天時の対応について検討する必要がある。					

◎保健事業の充実・拡大							
特定健診、各種がん検診、歯科健診などの内容の充実や受診機会の拡大を図り、受診率を高め、疾病の早期発見・早期治療を行います。また、健診後の健康相談や個別指導などの充実を図り、日常生活の中で適切に健康づくりを行うことができるように支援します。							
平成27年度事業 ◇特定健診・特定保健指導事業1,490千円・◇がん検診事業38,138千円・◇歯科健康診査事業35,863千円・★健康マイレージ事業3,000千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(特定健康診査等事業費)66,780千円(国保年金課)							
			第5期実施計画期間			後期終了年度	
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	一定の節目年齢対象者に自己負担金無料クーポン券を活用した健診受診勧奨を実施	健診受診状況を確認し、健診受診勧奨方法を検討
取組実績	40歳以上で対象年齢の方に胃・大腸・肺がん検診の自己負担金無料のクーポン券を特定健診の案内に同封し発送した。						
成果	大腸がん検診と肺がん検診の受診者が133人、467人増加した。胃がんの検診の受診者数は64人減少した。また、保健センターの特定健診と各種がん検診を併せて受診できるプランの利用者が増加し、特定健診の受診率が平成24年度より増加した。						
次年度課題	特定健診については対象者の関心を深める取組みや、受診申込時の利便性を検討するなど、受診率向上に向けて取り組む必要がある。						
計画	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。	成人歯科健診、妊婦歯科健診の受診率向上をはかる。成人歯科健診については未受診者に対し勧奨ハガキの送付を年2回実施する。	未受診者への受診勧奨実施後、受診率の伸びをふまえ、受診回数・受診ハガキの期間などを考慮し実施。また、成人・妊婦歯科対象それぞれに合わせた保健事業の中で受診勧奨を行う。	未受診者への受診勧奨実施後、受診率の伸びをふまえ、受診回数・受診ハガキの期間などを考慮し実施。また、成人・妊婦歯科対象それぞれに合わせた保健事業の中で受診勧奨を行う。	未受診者への受診勧奨実施後、受診率の伸びをふまえ、受診回数・受診ハガキの期間などを考慮し実施。また、成人・妊婦歯科対象それぞれに合わせた保健事業の中で受診勧奨を行う。	成人歯科健診・妊婦歯科健診の評価・検討	
取組実績	成人歯科健診で、無料対象者のうち未受診者に対して、未受診勧奨を実施した。また、ポスター、広報紙、HP等で受診啓発に努めた。						
成果	成人歯科健診の受診率は5.1%と前年度と同じであったが受診者が95人、妊婦歯科健診で受診率32.8%、11人の受診者増となった。						
次年度課題	成人歯科健診の無料対象者のうち、未受診者に対する勧奨を2回実施し、受診率向上を図る。						
計画	ハイリスク基準や指導方法を検討し、ハイリスク基準以上の人へ早期受診勧奨・生活指導を実施。	健診結果がハイリスク基準以上の人へ早期受診勧奨・生活指導を電話及び訪問にて実施。	健診結果がハイリスク基準以上の人への早期受診勧奨・生活指導を実施したのちの健診結果の値から保健指導の効果を評価・判定する。また、データヘルス計画に合わせて医療費分析をおこなう。高額セプトの疾患予防に保健指導の効果とその方法を見直していきけるよう、関連機関との連携を図る。	健診結果・データヘルス計画からの医療費分析から、疾病構造を明らかにし、重症化予防に焦点を当てた保健指導を行う。また、データヘルス計画に合わせて医療費分析を継続的におこなう。	前年度の健診結果・データヘルス計画からの医療費分析から、疾病構造を明らかにし、重症化予防に焦点を当てた保健指導を行う。また、データヘルス計画に合わせて医療費分析を継続的におこなう。	健診結果がハイリスク基準以上の人への指導方法を評価・検討	
取組実績	健診のハイリスク項目(eGFR)を追加した。ハイリスク基準対象者に対し医療への受診勧奨と生活指導を実施した。医療への未受診者へは受診勧奨後の受診確認を実施した。						
成果	ハイリスクの方92人に受診勧奨・保健指導を行った。						
次年度課題	継続的に支援した方の事業評価とともに、支援方法を電話から基本訪問支援に変更し積極的な支援を図る。						

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	要精密検査判定者の精密検査受診勧奨を行い、結果を把握	継続して、要精密検査判定者が早期発見・治療できるようにタイムリーに受診勧奨を行う。	継続して、要精密検査判定者が早期発見・早期治療できるようにタイムリーに受診勧奨を行うとともに、受診拒否の方に対しての効果的な受診勧奨方法の検討。	継続して、要精密検査判定者が早期発見・早期治療できるようにタイムリーに受診勧奨を行うとともに、受診拒否の方に対しての効果的な受診勧奨の実施。	継続して、要精密検査判定者が早期発見・早期治療できるようにタイムリーに受診勧奨を行うとともに、受診拒否の方に対しての効果的な受診勧奨の実施。	精密検査受診状況の評価・検討
取組実績	結果通知後、タイムリーに受診勧奨の電話を行っている。					
成果	がん検診の精密検査受診率は8～9割前後と上昇している。					
次年度課題	継続的に、タイムリーに受診勧奨の電話を行う。					
計画	各種健診の実施	平成27年度から開始予定の健康マイレージ事業に向け、健診体制を整備する	健康マイレージ事業等を実施し、受診者人数の増加を図る。	健康マイレージ事業等を実施し、受診者人数の増加を図る。	健康マイレージ事業等を実施し、受診者人数の増加を図る。	各種健診の評価・検討
取組実績	摂津市国保より、未受診者対策事業の委託を受け、特定健診未受診者へ電話勧奨事業を行った。誕生月健診の利用者が増え、肺がん・大腸がんの受診者も増加した。年度末のクーポン利用者の予約確保のため、保健センターでの胃・大腸がん検診の回数を1回増加した。					
成果	誕生月健診等の利用者が増え、肺がん・大腸がんの受診者も増加した。					
次年度課題	大腸がん検診については、誕生月健診基本プランでも受診できるように設定し、受診回数を11回増加した。胃がん検診については、当日キャンセルが多いため、事前に連絡を頂くように案内し、予約枠の有効活用を図る。					

○防疫施策の充実						
感染症に関する啓発、予防接種の積極的な推進など防疫施策の充実を図り、保健所や医師会などと連携し、健康危機管理の観点に立った即応体制の整備に取り組みます。						
平成27年度事業 ◇感染症予防事業243,535千円(保健福祉課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	定期予防接種として子宮頸がん予防ワクチン、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種が追加。新たに高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の一部助成を開始	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチン(任意)の一部助成(平成27年3月末まで)を実施。水痘・高齢者肺炎球菌ワクチンの導入及び実施(10月)	定期予防接種と実施改正に伴う水痘・高齢者肺炎球菌ワクチンの普及をはかる	定期予防接種と実施改正に伴う水痘・高齢者肺炎球菌ワクチンの普及をはかる	定期予防接種率の受診率を向上し、新ワクチンに関する普及啓発をはかる	定期予防接種と高齢者肺炎球菌ワクチンの一部助成を実施実施
取組実績	新型インフルエンザ等対策行動計画を策定した。また、大阪府において風しんが大流行したため、緊急風しん予防対策事業を行った。					
成果	新型インフルエンザ等対策行動計画のもと、関係各課、課題を共有した。また、成人を対象とした風しん(MR)ワクチンを約400人が接種した。					
次年度課題	新型インフルエンザ発生時のフローチャート作成の必要がある。府の動向を確認しながら風しん対策を実施する。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	定期的に予防接種検討委員会を開催し、BCG(現在4ヶ月健診開催時に実施)の接種体制を検討する	定期的に予防接種検討委員会を開催し、BCGの接種率、他市の体制を参考にしながら検討をつける	定期的に予防接種検討委員会を開催 法定接種に関する接種率、未接種者対策等を講じる。BCG接種を集団と個別で保護者が選べるように制度設計する	定期的に予防接種検討委員会を開催 法定接種に関する接種率、未接種者対策等を講じる。BCG接種を完全医師会委託とする	定期的に予防接種検討委員会を開催 法定接種に関する接種率、未接種者対策等を講じる。BCG接種を完全医師会委託とする	定期的に予防接種検討委員会を開催
取組実績	全委員(医師会4名、保健所長、行政2名)出席のもと、平成24～25年度実績や動向について確認した。BCGについては、現体制の方が受診率が維持できると考え、平成26年度については体制を変更しないとした。					
成果	予防接種について、市民の方がなじみやすいようスローガンを作ってはどうかと部長より提案があった。「受けよう！守ろう！自分のからだ みんなのからだ」が採択され、広報や印刷物に掲載した。					
次年度課題	BCGについては近隣市の接種体制を確認し、検討を続ける。					
計画	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施	新たな感染症が発生した時には感染症対策委員会を開催し、対応策を検討・実施
取組実績	新たな感染症の発生がなかったため、感染症対策委員会の開催は無かった。					
成果	—					
次年度課題	—					

○保健体制の機能強化

保健所、保健センター、医師会、歯科医師会などとの連携と役割分担のもと、総合的な健康管理や健康増進機能の強化と体制の整備に取り組みます。

平成27年度事業	◇健康せつ21推進事業9,056千円(保健福祉課) ◇保健施設事業(保健衛生普及費)22,354千円(国保年金課)
----------	--

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	第2次「健康せつ21」健康づくり計画を策定	第2次「健康せつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施	第2次「健康せつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施・評価	第2次「健康せつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施・評価	第2次中間評価(平成30年度)にむけた進捗状況の確認・目標の見直し	第2次「健康せつ21」健康づくり計画に基づく各種保健事業・健康づくり事業の実施
取組実績	本市における健康課題を検討し、検討結果をもとに保健調査部会で素案づくりを行った。学識経験者からの助言をいただき、今後10年にわたる健康施策を分野別に掲げることができた。					
成果	第2次計画では、「核となる健康施策」(まちごとフィットネス等)や「市内の自主グループと協働」などを柱とする方向性を決定した。					
次年度課題	目標の達成状況の進捗管理及び総括的な評価について検討する。					
計画	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の充実を図るよう検討した事業を実施	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討	摂津市保健センター事業の評価・検討
取組実績	世代別エクササイズを5クール開講した。うち3コースを夜間の開講とし、若年層の参加を図った。					
成果	40～60歳の男女130人(延べ1073人)が受講し、参加者が増加した。特定保健指導受講者も受講できるように配慮し、生活パターンに応じて参加機会の拡大を図ることができた。					
次年度課題	壮年期の参加者拡大のため、夜間のコースを充実する。また、参加者が興味を持てるようITを活用した内容で行う。					

	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催	保健センター、三師会などの関係機関の協力で市民健康まつりを開催
取組実績	同日にコミュニティプラザにて介護フェア、環境フェスティバルのイベントが開催された。22団体(196名)の参加のもと各コーナーで展示や健康相談を実施した。約1400名の参加があった。					
成果	参加団体が増え、多種多様なコーナーづくりができた。また、他のイベントと同日開催することで新たな参加者が増え、健康づくりへの関心が高まった。					
次年度課題	コミュニティセンターと保健センターの会場を有効的に使用できるように検討する。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

健康づくり自主グループの活動の促進						
健康づくり推進リーダー養成講座や介護予防講座などを開催し、その修了者が健康づくり活動を継続できるように支援します。また、グループの交流会を開催し、活動の活性化を促進します。						
平成27年度事業	◇介護予防普及啓発事業1,363千円・◇地域介護予防活動支援事業525千円(高齢介護課) ◇健康せつつ21推進事業9,056千円(保健福祉課)					
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	健康づくり推進リーダー養成講座を開催し、新たなリーダーグループを育成	健康づくり推進リーダースキルアップ講座を開催し、地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダー(うきうき健歩会)のスキルアップをはかり、地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダー(食育スマイル)のスキルアップをはかり、地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが独り立ちして地域で活動できるように支援	健康づくり推進リーダーが地域で活動できるように支援
取組実績	ウォーキングコースと健康遊具を設定・設置し、市民が効果的に健康づくりに取り組めるようウォーキング推進リーダーを育成した。ウォーキングイベントでは推進リーダーが主体となり取り組めた。					
成果	14名のウォーキング推進リーダーを育成し、「うきうき摂津健歩会」の設立につながった。					
次年度課題	うきうき摂津健歩会が主体となり、市と共同して新コースの設定と健康遊具の設置をしていく。また既存コースを活用したイベントをしていく。					
計画	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を評価	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施	グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を評価	修了後のグループ化を意識した講座を開催するとともに、グループ交流会の支援やスキルアップのための研修等を実施
取組実績	事務局を地域包括支援センターに移行した。関係団体と連携を図り、健康づくりグループ交流会を春と秋の2回開催した。(春:140人参加、31グループ参加。秋:500人参加、23グループ発表。)					
成果	交流会の企画運営に関して、いきいき体操の会を中心にしてグループが積極的に関わった。					
次年度課題	新規のグループにも交流会への参加促進を図る。					